

企 第 762 号
令和3年1月26日

八千代市長 服 部 友 則 様

八千代市総合計画審議会
会長 伊 澤 岬

八千代市第5次総合計画前期基本計画（素案）について（答申）

令和2年12月3日付け企第589号で諮問のあった「八千代市第5次総合計画前期基本計画（素案）」について、慎重に調査・審議を重ねた結果、その内容を概ね妥当なものとして認め、下記の意見を添えて答申する。

記

- 1 人口減少社会の到来が見込まれていることから、子育て支援及び教育環境に関する施策については、子育て世帯のニーズを的確に捉え、重点項目として取り組むこと。
- 2 SDGsについて、本計画における施策体系との関連を整理するとともに、地方公共団体としての役割の理解を深め、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて取り組むこと。
- 3 複雑かつ多様化している諸課題に対応するため、リーディングプロジェクトや分野間にまたがる施策については、全庁横断的な取組として推進すること。
- 4 人と人との繋がりが希薄化する中、新たな地域コミュニティのあり方を示し、コミュニティ活動に対してさらなる促進を図るとともに、まちづくりに参加・参画しやすい環境の整備を推進すること。
- 5 本計画が多くの市民にとってわかりやすく、理解しやすいものになるよう、構成やデザインなどに工夫を施すこと。
- 6 本審議会でも出された意見のほか、パブリックコメントや市議会など、多数の市民の方から貴重な御意見・御提案をいただきました。
今後の施策立案に当たっては、これらの意見・提案を積極的に活用すること。
- 7 新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、感染拡大防止に努めるとともに、国や県と連携し、市の果たすべき役割について医療関係者を含めた継続的な議論を始めるきっかけとしてもらいたい。